

# 企画担当

研究所業務の企画および連絡調整、関係行政部局との連絡調整をおこなうとともに、市民の生活・健康・環境に関わるデータを収集・解析し、市民や行政に提供している。また、広報活動として、各種刊行物を発行し、図書室を市民にも公開している。

企画担当の主な業務は以下の通りである。

- 1) 試験検査、調査研究等の企画および連絡調整に関すること
- 2) 情報の収集、解析および提供に関すること
- 3) 研修および指導の立案に関すること
- 4) 広報および各種刊行物に関すること
- 5) 図書室の利用および設備利用に関すること

## 1 調査研究の企画および調整

調査研究は行政ニーズに対応した研究テーマを設定し、その成果が行政施策あるいは市民に反映されるものを特に選定した。具体的には、1)本市が持つ固有の事象に対する調査研究、2)他都市と比較して、本市にその事象が多いものの調査研究、3)受託事業から派生した調査・研究でその成果がその事業を補完するもの、あるいは今後行政施策に反映できるもの、4)国の研究機関、大学からの受託・共同研究を通じて、成果が行政施策や市民に還元できるものを研究課題として選定した。なお、選定にあたっては各担当から提出された研究概要調書をもとにヒアリングを実施するとともに、所長はじめ評価会議を設置して研究実施の適否を決定し、所要経費の予算配布をおこなった。

また、府立公衆衛生研究所との連携の一環としてそれぞれの強みを生かした共同研究事業を推進したほか、競争的資金獲得の拡大に向けて積極的に応募した。

## 2 試験検査の信頼性確保

食品検査の信頼性を確保するために、「大阪市立環境科学研究所食品衛生検査業務内部点検実施規程」および「大阪市立環境科学研究所食品衛生検査業務内部点検実施マニュアル」にもとづき、「清涼飲料水中の保存料」と「青果物の残留農薬」について検査実施手順に関する点検を実施し、各々改善を講じるよう検査部門責任者へ要請した。外部精度管理

調査の実実施計画を作成し、(財)食品薬品安全センター-秦野研究所の実施する外部精度管理調査(理化学調査3回、微生物調査2回、計5回)に参加した。さらに、同研究所の遺伝子組換え食品の外部精度管理に参加した。

特定保健用食品については、「登録検査機関における許可試験の業務管理について」(食安新発第0227001号)による業務内部点検実施マニュアルにもとづき、本年度は関与成分あたり必ず一度は内部点検を実施することとし、許可試験の依頼総件数80件のうち15件について試験手順に関する内部点検を実施した。そのうち、特に検査実施過程への立会いによる内部点検を“キットサン”の許可試験(平成20年2月6日、12日、14日)について実施した。内部点検の結果、改善を講じる要請を2件、指導に対応する要請を1件およびコメントを5件、許可試験部門責任者に行なった。また、検査実施過程への立会いによる内部点検実施報告書を作成した。許可試験部門責任者と協議のうえ、外部精度管理試験としてFAPAS(Food Analysis Performance Assessment Scheme)プログラム「大豆粉(水分・灰分・窒素・AOACによる総食物繊維)」に参加した。

## 3 情報の収集・解析・提供

### (1) 図書室

衛生試験所時代から現在に至るまでの資料を収集・蓄積してきた。図書・雑誌類のほか、全国の行政機関・研究所・大学等で発行している調査・研究報告書、紀要等の学術資料を有し、広く一般市民に公開し閲覧に供している。

また、試験・検査、調査・研究に必要な生じた文献で、本所には所蔵していないものを迅速に入手するために、国立情報学研究所のNACSIS - ILL(図書館間相互貸借システム)に参加している。

一方、研究員の調査・研究における情報収集の高度化に対応するためや、RTECS(毒性情報データベース)、科学技術文献速報、環境公害編の二次資料を有し、また、JDream やDIALOGの外部データベースの文献検索システムを導入することにより、最新の情報や遡及的情報の迅速な入手を可能にしている。ここに参考資料として、平成20年3月末の所蔵の資料数は以下のとおりである。

雑誌:和雑誌 約1,250誌(継続中330誌)、洋雑誌 約450誌(継続中 50誌)

図書:和書 約7,280冊、洋書 約1,940冊

## (2) 研修、見学、講師派遣および各種相談

国際協力研修としてJICA集団研修「大気汚染対策コース」の研修員の受け入れをはじめとして、「環境政策・環境マネジメントシステムコース」、「都市廃棄物処理 コース」へ講師を派遣して協力した。

各要請に応じて職員を対象とした研修の実施、大学等からの見学の受け入れを行った。また、大阪市の施設や各区等で開催される市民向け講習会等に積極的に講師を派遣した。

市民や関係職員からの環境問題や公衆衛生についての科学技術的な相談に対して随時対応した。

## (3) 研究報告会等の開催

平成18年度の各担当重点研究(11テーマ)について平成19年6月28日(木)と6月29日(金)の両日に研究成果発表会を行った。

ドイツのフラウンホーファー・プロセス工学・包装研究所(Fraunhofer IVV)へ平成18年10月から平成19年9月の1年間出張した食品保健担当尾崎麻子研究員が、帰国報告を平成19年11月30日(金)に行った。出張先でのテーマは「食品用器具・容器包装の安全性に関する研究」で、食品用プラスチックの材質および材質中の添加物濃度から溶出量の概算が可能であることを明らかにした。

## (4) 刊行物による情報提供

一年間の研究業績と事業活動を収録した「調査研究年報」、「事業年報」を発行し、中央官庁(82ヶ所)、本市関係部局(164ヶ所)、地方衛生研究所および地方環境研究所(105ヶ所)、大学等各種研究機関(79ヶ所)のほか、欧米諸国、中国、韓国等の研究機関(8ヶ所)、図書室等に配布した。

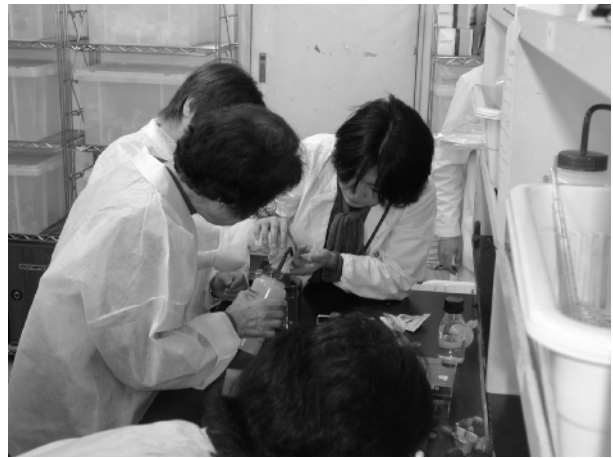
## (5) 広報誌の発行

研究所の業務を解りやすく理解していただくために、「健康・環境・サイエンス」を発行している。平成19年度は、93号～96号(平成19年6月、9月、12月、平成20年3月)を発行した。本市関係部局(115ヶ所)、全国の研究所(100ヶ所)、栄養専門学校卒業生(36名)、個人(4名)に郵送した。

## (6) 一日体験講座の開催

研究所の活動を紹介するとともに、市民が健康や環境について関心を深めるため、最新の話題をテーマに平成19年10月27日(土)に「一日体験講座」を開

催した。Aコース「ピフィズス菌を見てみよう」、Bコース「私たちの生活を考えてみよう ごみの減量とリサイクル」の2コースを開設し、所員による講義と実習を行った。35名の参加者があった。



## (7) 「くらしのサイエンス講演会」の開催

市民を対象に研究所が取り組んでいる課題あるいは「くらし」に関係のあるトピックスなどを話題提供している。第9回目となる今回は府立公衆衛生研究所と共催で平成20年1月30日(水)14時から16時、大阪府病院年金会館にて実施した。116名の参加があった。

「おいと暮らし - 快適生活を求めて -」  
大阪市立環境科学研究所 福山丈二  
「“かぜ”って何? - 身近で奥深い病気」  
大阪府立公衆衛生研究所 高橋和郎  
「特定保健用食品 とは - 上手な利用法」  
大阪市立環境科学研究所 森 義明



## (8) 天王寺区民まつりへの参加

研究所の活動を市民の皆様幅広く理解していただく目的で、平成19年9月9日(日)に開催された「天王寺区民まつり」に「身近な健康」をテーマに参加した。

### (9) 天王寺区みんなの健康展への参加

研究所の活動および最近の公衆衛生に関する話題を市民の皆様に広く理解していただく目的で、平成19年10月13日(土)に開催された「天王寺区みんなの健康展」に参加し、ポスター展示やアンケートを行った。



### (10) 研究所ホームページ

平成19年度は、更新回数20回、提供中の情報量はHTMLファイルで、6,291ページとなった。これらのうち、蔵書・所蔵雑誌目録情報は、5,688タイトル、蔵書・所蔵雑誌目録情報以外の提供中のHTMLページ数は603ページとなった。提供中のページ数の推移を図2-1-1に示す。また、年間アクセス件数について表2-1-1に示す。

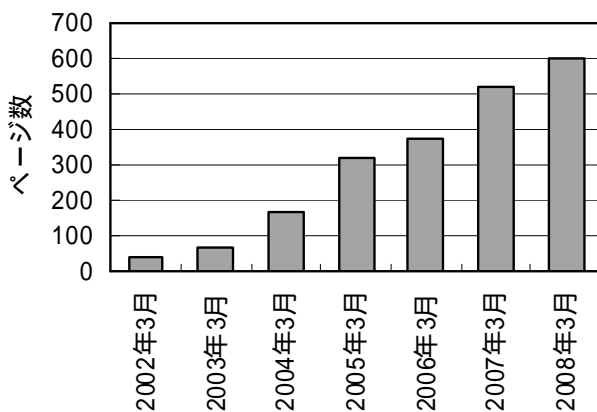


図2-1-1 蔵書を除く提供中HTMLページ数の推移  
各年3月30日時点(トクホデータベースは含まない)

表2-1-1 所ホームページへの平成19年度中のアクセス集計

http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/iphes/		
カテゴリ	フォルダ名	アクセス件数
イベント案内	/iphes/event/	42,825
検査サービス	/service/	55,938
組織業務案内	/department/	88,870
施設利用案内	/institution/	22,405
研究成果集	/achievement/	87,148
広報誌	/information/	93,031
新着情報	/whatsnew/	20,615
入札契約	/keiyaku/	68,524
英文	/english/	2,105
iphesフォルダ	/iphes/	515,775
合計		

### 4 検査助手体制

研究所の検査業務を円滑に遂行するために、保健ブロック(8名)と環境ブロック(7名)に検査助手を配置して応援体制をとった。